

福井すすめる会が3月20日に学習会を開催しました。高校生、父母、教職員、市民・卒業生など総勢50人の参加で、卒業を迎えた3人の高校生の報告に基づいた討論でおおいに学び合いました。「3人寄れば、社会は変わる」のテーマにふさわしいかけがえのない体験と、それを正面から受け止め、継承していく運動のかたちが明瞭に浮かび上がるとりくみです。

福井県私学の公費助成をすすめる会

すすめる会NEWS

No.22 | 2025 4月号 | 3人寄れば、社会は変わる

3・20「3人寄れば、社会は変わる」学習会



3/20にすすめる会主催で「3人寄れば、社会は変わる」と題して、青山さん、山形さん、今さんの生徒会活動・生徒自主活動を通して獲得した学びや彼女たちの成長を聞きたり、語り合う学習会を開きました。

当日は、高校生21名、父母8名、教員12名(1名資料のみ)、市民・卒業生8名の総勢50名が会場に集い、語り合いました。福井県の高校生・父母・教員、卒業生の他にも、これまで福井がつながってきたハスの実の家や新潟、富山、大阪、全国からも多くの人に参加してくださいました。

3人の学びと成長を聞き取る会は、3人の話をたっぷり聞いてもらうために、3部構成にしました。第1部では3人それぞれのレポート報告、2部ではレポートの中身でもっと聞きたいところなどの3人の活動をより深く振り返るエピソードトーク、3部は四者討議「3人の報告から私たちは何を学ぶのか」で語り合いました。

3人の報告は三者三様で、今さんの報告では自主活動を通して、多くの仲間と繋がり、学び、行動してきたことで、今さん自身も傍観する主体ではなく、自ら考え行動する主体へと変化していったことが語られました。



青山さんの報告では、生徒会活動・生徒自主活動を通して、自分たちで活動をつくっていく過程で民主主義を実現していくにはどうしたら良いかということを学び取っていったこと、自身の母を巻き込みながら自主活動を展開したことで学歴社会からともに抜け出し、学びとは何かということを問うようになったことなどが語られ、繋がることで学び、学びでつながっていく様子がとても鮮明に伝わってきました。

最後に山形さんの報告では、生徒会活動や生徒自主活動をしていく上で、様々な葛藤がありながらも、活動を続け、自身が活動を「つくる」主体になったからこそ、「社会を形成する主体」へと変化していくプロセスが印象的でした。(※3人のレポートには、ここでは書ききれないくらいの素敵な言葉が綴られています)3人のレポートからは、「合意形成」の難しさと大切さ、「仲間」とはどんな存在かなど、それぞれの経験から多くの重要なテーマが浮上り、参加者の多くがそれぞれのフィールドでどのように活動を展開していくべきなのかということを学んでいました。また、後輩の存在の大きさについても述べており、年齢や立場を超えた共同が生徒たちの活動を支え、発展させてきたことがわかりました。

さらに福井の運動では、生徒たちから自身の父母に声かけをし、父母共同を展開してきました。この日は自主活動生徒の父母が4名参加し、青山さん母は自主活動に参加しておきた自身の変化をレポートにして語りました。また、今さん母もレポートをする娘の様子をみて、感想を話してくださいました。



学習会を開催して、これまでの福井の運動を振り返りながら、3人の卒業生の学びと成長を四者で聞き取り、語り合うことができたのは、これからの福井の運動を展開していく上でとても重要な機会になりました。「3人寄れば、社会は変わる」という言葉は、事前打ち合わせでの3人との語り合いから出た言葉ですが、彼女たちが他者とつながることで学び、身近な社会問題に仲間と取り組んできたからこそ、生まれた言葉だと思います。これからも福井では学びと交流で他者とつながることを大事にしながら活動を展開していきたいです。